

平成 25(2013)年度
一橋大学大学院国際・公共政策教育部(国際・公共政策大学院)
専門職学位課程
春季社会人特別選考 第2次試験(小論文)問題
〔公共法政プログラム〕

受験番号 _____

日 時 平成25年2月8日(金)
試験時間 10時00分～11時30分 (90分)

注意事項

- (1) 解答用紙には、氏名を書かないでください。
- (2) 問題用紙、解答用紙及び下書用紙は、試験室から持ち出さないでください。
- (3) 試験用紙には受験番号だけを書き、氏名は書かないでください。
- (4) 受験票は机の上においてください。
- (5) 受験票と筆記用具以外のものは机の上に出さないでください。
- (6) 携帯電話は電源を切り、かばんの中にしまってください。
- (7) 時計等についているアラーム機能、計算機能、翻訳機能、その他時計以外の機能をOFFにしてください。
- (8) 試験中に体調不良または手洗所に行く等の理由で試験室から一時退室しようとする場合は、監督員に申し出てください。
- (9) 不正行為を行った者または監督員の指示に従わなかった者は、失格とします。

問 題

国会の参議院については、従前からこれが衆議院のカーボンコピーのごとき存在となり、「良識の府」、「再考の府」であるべき第二院としての独自性を喪失し、無用の長物になってしまっているとの指摘がみられたところです。さらに近年のいわゆる「ねじれ国会」の状態のもとでは、無用の長物どころか、参議院が過剰に強い権能を保持するに至っていて、とりわけ衆議院において与党勢力が法律案の再可決に必要な3分の2以上の議席を有しない場合には、参議院の存在が議院内閣制の正常な作動を阻害し、政治の停滞を招いているといったより厳しい批判もなされるようになってきています。

このような批判を受け止めて根本的な解決を図るための選択肢としては、大きく分けて

- 1) 参議院を廃止し、国会を一院制に改めること
- 2) 参議院議員の選挙制度を改めるとともに、参議院の権能を限定することによって、その第二院性を明確にすること

という2つの方法が考えられます。

1)と2)を比較すれば、現在の両院制を維持する2)の方法が、より穏やかな改革手法であると思われませんが、この2)の方法に拠る場合の国会改革、特に参議院改革の具体的な提案について、1,000字以内で述べなさい。なお、憲法改正を伴う改革案とするか、現在の憲法の規定を前提とした改革案とするかについては、いずれの提案でも構いません。